

【オリコンサルグローバル ナザブ・トモダチ空港が完成 パプアニューギニアで2日に開港式】



設計—オリコンサルグローバル・梓設計JV
施工—大日本土木・NIPPOJV

ナザブ・トモ ダチ空港が完成

パプアニューギニア で2日に開港式

パプアニューギニア第二の都市レイ市の郊外に建設していた「パプアニューギニア国ナザブ・トモダチ国際空港」が完成し、2日に開港式が開かれた。詳細設計、入札支援、施工管理などのコンサルタン卜業務はオリエンタルコンサルタンツグローバル・梓設計JVが担当。大日本土木・NIPPOJVが施工した。

式典には、ジェームズ・マラペ首相やウォルター・シウナウベルト交通航空大臣ら同国要人や地元関係者など、日本からも堀井巖外務副大臣らが参加。オリエンタルコンサルタンツグローバルの宮越一



郎取締役副社長と梓設計の有吉匡社長には発注者の同国空港公社（National Airports Corporation）から開港記念切手が授与された。写真。

同事業では、ODA（政府開発援助）有償資金協力で本邦技術活用条件（STEP）を適用し、既存のナザブ空港の老朽化が著しい施設・設備を更新。国際線の就航に必要な既設滑走路の拡張、既設誘導路の拡張と新設、駐機場の拡張、航空灯火の機能向上、旅客ターミナルビル（S造2階建て延べ1万0740平方メートル）・駐車場の新設を中心とした新ターミナルを整備した。借入額は269億4200万円となる。

これにより、産業と物流の拠点都市であるレイ市と首都ポートモレスビーを結ぶ航空旅客輸送の需要増加に対し、利便性と安全性の向上、効率的な運営を実現することが期待されている。